



□ 発行 芳賀町工業団地連絡協議会

□ 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台 98

□ TEL 028(677)5033

□ <http://www.hokoren.com>

□ E-Mail : information@hokoren.com

□ 編集責任者 河田 茂美

■ 県産業労働観光部長との意見交換会開催

10月12日県より、栃木県産業労働観光部長小林様をはじめ、産業政策課伊藤様・眞田様・県工業団地管理連絡協議会事務局富永様の御出でを頂き開催されました。

意見交換会前半は、(株)栗崎歯車製作所宇都宮工場様の御協力を頂き、工場視察となり宇都宮工場の青木取締役からの業容の概要説明と工場内での生産工程の説明をして頂きました。

参加された方々は、自動車エンジンに用いる歯車の、量産の為の仕様決めを行う歯車の製作工程では、普段見る事の出来ない製品加工機や、部品に興味深く覗き込んでおりました。

視察終了後、会場を管理センターに移して後半の意見交換会となり、県関係者3名と、工業団地関係者20名が出席して開かれ、芳工連澤田会長からの歓迎の挨拶と、小林部長様からの御挨拶の後、(株)ピーエスジー様・AGCオートモーティブ高橋(株)様の両社による、立地企業の会社概要説明が行われ、それぞれの業容の幅の広さや専門性の高さに大きく頷いておられました。

意見交換会では、芳工連より3項目の意見・要望が出されておりましたが、県よりのご回答は、全てに真摯な回答を頂きました。



No	質問や意見	県からの回答
1	<p>電気料金値上げに対する県としての対応</p> <p>本年5月11日に東京電力より、値上げ申請がなされそれに対し、栃木県は、国・東京電力に対して、「東京電力株式会社の電気料金値上げ認可申請等に関する要請書」を提出されました。</p> <p>今後、更なる値上げ申請がなされた場合、一層のコスト負担を強いられ、更なる業績悪化や事業縮小を強いられるなど、経営環境に大きな影響を及ぼす為、電気料金の更なる値上げの動きが表面化した場合、県として何らかの対応を考えられているか見解をお伺いしたい。</p>	<p>県・関東知事会にて国、東電に対し値上げ抑制について要望しております。</p> <p>電気料金の値上げ分が吸収できない、又、販売価格転換できない企業にとって厳しい状況が、続いていることは認識しております。</p> <p>県として、特に競争力強化の面から、本県産業に重大な影響を及ぼすことから、東京電力の更なる値上げの動きに対し、企業の負担のならないように、国及び東電にコスト削減等逐次要望をします。</p>

2	<p><u>自転車・自動車が共存できる道路作り</u></p> <p>幹線道路に於いては、自転車・車それぞれに共存できる環境では有るが、一部自転車通勤者にとっては、安全・安心な環境とは云無い箇所もあり、自転車走行に適した環境整備をお願いする。</p>	<p>宇都宮土木事務所で現地調査の結果、危険箇所については修理対応します。</p> <p>各所の側溝の破損についても、補修を致します各グレーチング・マンホールの段差についての注意喚起については、危険を知らせる注意喚起設置を占有者と協議し検討します。</p>
3	<p><u>交通安全施設(信号機)の整備充実について</u></p> <p>行政の御理解と御配慮により工業団地周辺の道路環境が整備されるに従い、交通動線等の変化により、渋滞発生箇所が変化しつつあり、最近時、工団地内に於いても渋滞が発生しております。</p> <p>それに伴い交通安全施設(信号機)充実のお願いをさせて頂いており、現状の進捗について伺います。</p>	<p>設置に関しては、県からも警察本部へ要望として出します。工業団地内の交通渋滞を解消することは、安全な交通環境を作ることで、重要と考えております。県警でも予算削減の中、設置要望箇所については、バランスよく設置しています。交通の流れを考えて、矢印信号等は必要と考えており 危険な箇所への設置を県よりも要望いたします。</p>

意見・要望及び県よりの回答については、抜粋掲載させて頂いております。

■安全衛生部会

1) 健康づくり講習会開催

10月2日 大会議室にて、15社28名が参加し安全衛生部会主催の健康づくり講習会が、講師に栃木県臨床心理士会・産業領域委員理事 坂寄和弘先生を迎え、メンタルヘルスケアと若者の心理について、講演を頂きました。



冒頭、職業生活におけるストレス原因について、30歳以下・30歳以上との比較内容では、ストレスになる項目については、ほぼ同様では有るが、その割合は、職場の人間関係・仕事の量・定年後の問題等で、かなりの差異がみられ、年齢の違いによるストレスの原因に差がある事が明確に理解できました。

ストレスの要因の多くは会社や家庭と範囲が多く、特に職場内では部下や同僚の様子にも気を配ることも重要で、**部下・同僚の様子に気づく・話を聞く・情報提供と助言をする・専門スタッフと連携し対応を行う等**、当事者と共に対応する事の必要性を認識しました。

又、職場内で、メンタル不全に陥った方の事例を基に、職場での上司の対応や周囲がどのような対処をされたかを具体的にお話をされ、参加者の中には大きく頷いていた方や、熱心にメモを取る方など、メンタルは改めて身近な事であると痛感した講演会でした。講演終了後は、県東健康福祉センター小倉保健師より、『こころのセーフティーネット』についての説明が有り、もし心が病んだ時の相談窓口等についての案内も御座いました。



2) 企業労働災害防止協議会 連絡会議開催

10月15日 真岡市公民館にて、労働災害防止団体長及び、企業労働災害防止協議会との連絡会議が開催されました。栃木県内では、2012年9月末現在

労災の死傷者が最悪のペース（休業4日以上を要する労働災害の今年の県内死傷者が、9月末1229人・死者は10人）に上り、前年同期比で15%増と過去20年で最悪のペースで増えており、このまま推移すれば、年間の死傷者は1900人台に達し、2011年の1715人を200人近く上回る事態となる事から、各業界団体や、事業所に災害防止の徹底を呼びかけたものです。

今後さらに災害が多発する傾向にある年末を前に、十分な安全対策の徹底を呼びかけ、新たに『真岡労働基準監督署管内安全総点検運動』を24年11月1日～25年1月15日迄展開することになりました。

3) 第2回部会開催

10月23日11名が参加して、第2回安全衛生部会が開催されました。

冒頭、藤枝部会長より、企業労働災害防止協議会連絡会議にて、真岡労働基準監督署から実施依頼をされた、『真岡労働基準監督署管内安全総点検運動』の内容についての説明があり、既に劳工連としては、劳工連HPでの内容の周知・12月4日監督署長をお招きしての安全講演会等の計画が立案され安全活動が展開されている旨の報告が有りました。

その後、安全衛生部会下期活動内容の審議に入り、12月度予定の労働安全活動事例発表会の開催日時決定、優良企業視察（環境整備部会との合同研修会）の訪問先企業様の選定について協議が行われました。事務局よりは、11月21日開催の真岡地区安全衛大会についての出席依頼、県産業労働観光部長との意見交換会についての意見・質問項目と回答内容及び、各部会の活動状況の報告を致しました。

■交通防犯部会

1) 第2回交通防犯部会

10月1日 10時30分 第2回目の部会が開催されました、会議に先立ち、9月末で終了した 秋の交通安全県民総ぐるみ運動展開中に設置されたのぼり旗・横断幕の撤去作業にとりかかりました。

前日、栃木県地方を縦断した台風17号の影響で、のぼり旗がポールに巻き付いていたり、ポールが途中から折れていたり、改めて台風の風のすごさを見せつけられた撤去作業でした。

撤去作業終了後は、部会会議となり、前田部会長より芳賀町に対して、街路灯設置の要望・11月9日団地内防犯環境総点検の実施・10月31日交通安全KYTが実施される旨報告が有り、事務局よりは、栃木県産業労働観光部長との意見交換会についての意見・要望項目を説明させて頂き、中でも、『自転車・自動車が共存できる道路作り』の要望については、部会員より、通勤途上自転車で路肩を走行中、マンホールの段差でハンドルを取られ転倒し怪我をしたことなどが報告され、今回の要望が早期に対応される事を強く望まれました



■総務企画部会

1) 若手研修会開催

10月17日若手研修会を管理センター大会議室にて講師に、エファ社の菊地様を迎え開催されました。

この研修会は、社内でひと通りの仕事ができる様になり、多少の仕事は任せられ、後輩を多少なりとも指導する立場の人達で、企業10社から入社3～5年



目の 23 名の若手が参加して頂きました。

そろそろ、会社・職場全体を見据える事が出来、狎れてきた時期、この様な人達に対して、自己の振り返りを初め、今後の企業人としてのレベルアップを図るべく計画したものです。受講者のアンケート結果では研修会の内容は、よく理解され、全受講者から今後の仕事に、参考になるとの答えでした。この研修会は、受講者に合致した内容で、意欲が出る研修会として好評ですので、狙い通りの有意義な研修会だったと思っております。

2) 第2回部会(情報交換会)開催

10月19日市内にて第2回部会・情報交換会が開催されました。中山部会長の挨拶の後、賀詞交歓会等、1月度以降の活動項目の詳細及び日程等の決定をおこないました。その後、アルコールで舌を滑らかにしながらの情報交換では、会員相互の親睦を大いに図る事が出来ました。部会活動の話題は無論、仕事や趣味の話に花が咲くなど、各々のネットワーク造りにも寄与出来た、実り多い情報交換会でした。



■町商工会と立地企業との交流会開催

1) 講演会が開催されました。



10月19日 芳賀町商工会大会議室に於いて『平成24年度芳賀町商工会と立地企業との交流会』が、商工会・工業団地・一般の方々と多くの参加者を集め開催されました。開会にあたり吉原芳工連副会長の主催者挨拶・来賓の豊田芳賀町長様に祝辞を頂き開会されました。

交流会は、医療法人DIC 佐藤俊彦先生をお招きしての講演会で、演題『100歳まで元気に生きる人のシンプルな習慣』で、特に原発事故に纏わる放射能被害について、放射性物質の違いによる体内への影響や、チェリノビルと日本での原発事故における放射能暫定規制値の違い等、専門家ならではの内容でした。又、TPPに絡みいずれば起こり得る、医療保険崩壊の危機では、病気になるということは自分だけではなく、家族をはじめ、周囲の大切な人達の生活にも程度の差はあれ、経済的に影響を与えてしまうということを深く考えさせられた講演でした。

芳工連日誌

【10月の実績】

- 01日 交通防犯部会
- 02日 健康づくり講習会
- 04日 商工会工業部会幹事会
- 05日 第3回商工会理事会
- 12日 栃木県産業労働観光部長との意見交換会
- 13日 平成24年度地域安全運動真岡地区大会
- 15日 企業労働災害防止協議会会議
- 17日 若手研修会
- 19日 総務企画部会情報交換会
- 19日 商工会・立地企業との意見交換会
- 24日 資源ごみ回収日
- 25日 第3回クリーン作戦

【11月の予定】

- 04日 芳賀町民祭
- 05日～6日 団管連研修会
- 08日 環境整備部会
- 14日 初級管理者研修会
- 17日 第6回担当者ゴルフ大会
- 21日 真岡地区安全衛生大会
- 26日 安全・安心道づくりを求める県民大会